文部科学省認可通信教育
（第４種　定形外郵便）
令和８年１０月発行

放送大学滋賀学習センター

樹　滴

緑豊かな環境　　真理のしたたり

第141号

〒520-2123
滋賀県大津市瀬田大江町横谷１－５
龍谷大学瀬田キャンパス４号館１階
TEL.077-545-0362
FAX.077-545-2096
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/

目　次

『一滴の液体から見えてくるもの－「測る」という科学』（滋賀学習センター客員准教授　糟野　　潤）‥ 1
「謝　辞」（教養学部 自然と環境コース　中嶋 泰子）…… 2
卒業生のことば、卒業生・入学生の状況 …… 3
セミナーのご案内 …… 4
事務室からのお知らせ …… 5



『一滴の液体から見えてくるもの－「測る」という科学』

滋賀学習センター客員准教授　糟野　潤

「私たちは毎日、多くのものを「測って」いる。時計で時間を確認し、体温計で体温を測り、料理では材料の重さや調味料の量を量る。健康診断では、身長、体重、血圧、血糖値など、さまざまな数値を測定する。改めて考えてみると、「測る」とはいったい何をしているのだろうか。例えば、“長さを測る” とは「ものさし」という基準と対象物を比べることである。温度なら温度計、重さならはかりを用いる。つまり「測る」とは、目では直接捉えにくい量や状態を、一定の基準と比較して数値として表すことである。科学において測定が重要なのは、得られた数値をもとに比較や検討を行うことで、自然界で起こる現象を客観的に理解できるからである。

化学では、とりわけ目に見えないものを測ることが重要になる。例えば、水の中にどのような物質がどの程度含まれているのか、血液中にどのような成分が存在しているのかは、肉眼ではわからない。そこで、物質が示す光の吸収や発光、電気的な性質などの特徴を利用して、その種類や量を調べる。こうした学問分野を分析化学という。分析技術の進歩によって、私たちは非常に少ない量の試料から、多くの情報を得られるようになった。その代表例の一つが血液検査である。血液一滴の中には、ナトリウムやカリウムなどのイオン、グルコース、タンパク質など、多様な成分が含まれている。これらを分析することで、身体の状態や病気の兆候を知るための手がかりが得られる。一滴の液体の中に、目には見えない健康にかかわる情報が存在しているのである。

かつて、何かを測るためには、多量の試料と大型の分析装置が必要であった。しかし現在では、分析化学、電子技術、微細加工技術などの進歩によって、必要な試料の量は次第に減ってきている。少量の試料を用いることができれば、身体への負担を軽減できたり、貴重な試料を有効に活用できたりすることにもつながる。「少ない試料からできるだけ多くの情報を得る」ことは、現代の分析技術の重要な方向の一つである。

こうした流れの中で注目されているのが「センサー」である。センサーとは、温度、光、圧力、化学物質の濃度などの変化を捉え、それを電気信号などに変換する装置である。スマートフォンやスマートウォッチにも、加速度や明るさ、位置情報などを検出するさまざまなセンサーが組み込まれている。近年は、センサーを身につけたまま日常生活を送り、その間の身体の状態を測定する「ウェアラブルセンサー」の研究と開発が進んでいる。心拍数、体温、運動量だけでなく、汗に含まれるナトリウムイオンや乳酸などを測定する研究も進んでいる。小さなセンサーを腕時計や衣服などに組み込めば、病院で一度だけ測定する場合とは異なり、生活の中で起こる身体の変化を継続的に捉えることが可能になる。

ここで重要なのは、科学の進歩が単に「より正確に測る」ことだけではない、という点である。これまで測定できなかったものを測れるようにすること、さらに、一度だけの測定ではなく、「いつ、どのように変化したのか」を追跡できるようになっているのも大きな進歩である。現在では、身体に装着したセンサーだけでなく、体内にセンサーを埋め込んで測定する技術も実用化されている。例えば、糖尿病患者の皮下に小型センサーを装着し、体液中のグルコース濃度を連続的に測定する機器が用いられている。また、心臓や血管にかかわる状態を遠隔で把握するための医療機器も開発されている。現時点では測定できる対象が限られているものの、将来はさらに多様なイオンや分子を体内で継続的に測定できるようになると期待されている。

ただし、測定によって得られた数値は、それだけで意味を持つわけではない。どのような方法で測定したのか、誤差はどの程度あるのか、過去の値や基準値と比べてどのように捉えられるのかを考えることが重要である。単に数値を得るだけではなく、その数値から対象の状態や変化を読み解く必要がある。「測る」という技術の進歩は、これまで見えなかった世界を可視化し、健康や環境を守るための新しい方法を生み出してきた。これから先、私たちは何を測り、そこから何を理解できるようになるのだろうか。

謝　　辞

教養学部　自然と環境コース
卒業生代表　　中嶋　泰子



本日は私たち卒業生のために、卒業証書・学位記授与式を挙行して頂き、誠にありがとうございます。太田センター所長をはじめ、ご多忙にもかかわらずご臨席賜りました先生方、きめ細やかな対応をして下さった職員の皆様に、卒業生を代表致しまして心より御礼申し上げます。

各地に災禍の爪痕がまだ残る中、季節も秋を迎えています。幸いにも私どもの地域には大きな影響もなく、平穏に学業を修める事ができました。

振り返れば、私がこの放送大学の門を叩いたのは２０１７年で、「少し学んでみよう」というほんの軽い動機でしたが、始めてみると自己管理の厳しさで挫けそうになりました。面接授業で出会った仲間たちと LINE グループを作り交流を深めて行きました。そんな中コロナ禍に入り、授業の在り方や学習環境が大きく変わりました。対面での交流が制限され戸惑う事もありましたが、孤独に陥ることなく今日と言う日を迎えられたのはこのグループのお陰です。



当初、「人間と文化」のコースから始め、その後「自然と環境」を履修し、今回卒業する運びとなりました。この中で特に学びたかったのは生物の誕生と進化の過程です。元々原始的なアメーバーから始まり、各種の生物に進化しました。その連鎖の頂点にいる自分の存在の不思議に感動しました。又、ここで使用した教材は単に暗記するだけでなく、些細な事も感じ取れるものであり自分の感性を磨けるものでした。予想以上に難解なもので単位を落とすこともありましたが、単位を取るだけが学びではないと気づくこともできました。

また学校生活では、微力ながら「学友・同窓会」の役員をさせていただき、会報誌「かいつぶり通信」の編集を担当いたしました。会報誌には、離れた学生たちを繋ぐ大きな役目があります。良き先輩にも恵まれ、毎号身の引き締まる思いで編集に臨んできました。更に、「学割」などの様々な制度の恩恵を享受できたことも新鮮な喜びです。軽い気持ちで始めた学びが、今は大きな財産になっています。学びの機会を理解し温かく見守ってくれた家族に感謝しています。１０月からは、「心理と教育」を学ぶ予定です。

最後になりましたが、放送大学滋賀学習センターの更なる発展と、お世話になりました所長をはじめ、先生方、職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしまして、卒業生代表の謝辞とさせていただきます。有難うございました。



今年からお目見えした
アカデミックガウン

令和８年度　第１学期　卒業生のことば



2026年度 第１学期に卒業される皆さんからメッセージをいただきました。

「やっと出会えた学びの場」

社会と産業コース　佐々木　克明

退職後直ぐに入学しました。仕事をしながらの勉強ですので、なかなかしんどいものがありました。入学以来十数年、今回やっとのことで卒業することになりました。先生方、スタッフの皆様に感謝申し上げます。再入学し、今後も学びを続けます。

「一流の教授陣とともに」

人間と文化コース　角田　雅治

故あって ３ 年次から編入した放送大学ですが、予想を超えた幅広い学的領域に接することができました。それも教授陣は第一線で活躍されている方々ばかり。地元に居ながらにして、数々の名授業、名文を体験できたのは放送大学の比類なき学習環境のおかげです。

「出会いと学びの宝物を抱いて」

心理と教育コース　谷田　妙子

心理と教育コースでの豊かな学びと出会いは、日々の心理職の仕事の大切な道しるべとなりました。面接授業で心を通わせた仲間たちは私の一生の宝物です。いただいた温かいご縁に深く感謝し、これからも前を向いて進んでまいります。

「認定心理士を目指して」

生活と福祉コース　野瀬　利枝子

入学後は認定心理士の資格取得に向けて違うコースも始めることに。必須の心理学実験の授業は毎回楽しく刺激的でした。しかしレポート作成に悪戦苦闘。講師をはじめスタッフや同じ受講生の方にも助けられ乗り越える事ができました。本当にありがとうございました。

「学びが変えた私のキャリア」

社会と産業コース　松下　正和

22 歳、資格挑戦で学歴の壁に当たり入学した放送大学。ここで得た学びの習慣はFP1 級取得をもたらし、総務経理から工場長へという大きなキャリアの転機をくれました。学びは可能性を押し広げる最高の武器です。２度目の卒業を迎えた今も、私の挑戦は続きます。

「日々是好日」

心理と教育コース　森　良和

最初の頃は漫然と単位を取得しておりましたが、途中からは認定心理士の資格取得を目指すようになり資格取得後は卒業を目標にして受講を続けて参りました。面接授業での手書きレポート提出には苦労しましたが、いい経験になりました。ありがとうございました。

「感　謝」

心理と教育コース　辻　　啓吾

社会人生活との二足のわらじを続けること ８ 年。仕事と学業の両立は決して簡単ではありませんでしたが、諦めずに続け、無事に卒業することができました。学びの機会をくださった放送大学に心より感謝申し上げます。

「卒業に思う」

心理と教育コース　西山　　治

定年後、大学に入る機会に恵まれ、色々と応援していただきました。卒業できて本当に嬉しいです。仕事を通して能力開発していただいたこと、また、大学で学べたことに感謝しています。今後も、より高い目標を持ち勉強を継続したいと思っています。

「学びで日本人に戻る」

人間と文化コース　西山　泰夫

１９歳で初渡航以来、海外生活３５年を経て７０歳で帰国。その後４年半掛かって卒業、ようやく日本人に戻れた気がします。家族の理解と協力を有難く思い、先生方、職員の皆様や学友会諸氏のご指導ご支援に感謝です。今７５歳、後期高齢者になり別コースに継続入学。好奇高齢者・光喜高齢者を目指します。

「自由な学びと出会って」

心理と教育コース　丸岡　章子

子育てが一段落したら「いのちの相談員」に携わろう、心理学を学ぼう、と思い令和３年４月に入学しました。ZOOM 心理セミナーではたくさんの知る機会を頂き、教材に載っている引用文献を読むと理解が深まります。これからは心理以外の科目にも挑戦していきます。

「生涯学習」

社会と産業コース　柳　　知圭

放送大学に入学して早や十二年（休学四年）。ようやく卒業を迎えることができました。仕事や学業の都合で学習センターを変更しながらも断念せず頑張れたのは、先生方をはじめ、スタッフの皆様のお陰だと感謝しています。これからも学び続けていきたいと思います。

「視野を広げる」

生活と福祉コース　吉岡　　俊祐

時代に取り残されないよう学び、諸先輩に教えを乞うた日々は大きな財産です。親身に支えて下さった先生方スタッフの皆様そして諸先輩方に心より感謝申し上げます。放送大学で得た知識と学び続ける力を糧に、社会貢献できるように精進いたします。

令和８年度　第１学期　卒業生、第２学期　入学者の状況

今年度、第１学期は２２名の方が放送大学を卒業されました。

また、第２学期に滋賀学習センターへ入学された方は、１０月１日現在で106名になりました。

年代別にみると、２９才以下＝４８人、３０代＝１４人、４０代＝２０人、５０代＝１４人、６０才以上＝１０人となりました。

ちなみに、入学者の最高齢は７４才でした。職種別では人数の多い順に、会社員等（２６名）、教員（１９名）、パートタイマー（１４名）、自営業（４名）などとなりました。

令和８年度第１学期卒業生　＜教養学部＞

生活と福祉コース	５名	心理と教育コース	８名
社会と産業コース	５名	人間と文化コース	３名
自然と環境コース	１名	情報コース	０名

合　　計　　22 名

セミナーのご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。
以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターウェブサイト及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。

【簿記入門セミナー】（ 簿記 3 級を目指そう ）

太田　善之　所長

引き続き、簿記を勉強します。テキストは同じです。
※テキストは各自でご購入下さい。

10月 15日・29日	木	13:30～15:00
11月 12日		
12月 10日		
1月 14日		

【保健医療と社会セミナー】

伊藤　美樹子　先生

健康・病気と保健・医療の分野における問題を、行動や生活、家族や集団、職場や家族、制度・政策との関わりや社会・文化の影響から考えてみたいと思います。

10月　6日	火	10:15～11 :45
11月 17日		
12月　1日		
1月 12日		

【基礎化学セミナー】身の回りの化学

糟野　潤　先生

身近な生活の中には化学が深く関わっています。化学の基本である「元素の周期表」が完成する前から、化学の研究は盛んに行われてきました。演示実験にいくつか取り組んで、化学の世界を楽しんでください。

10月　9日	金	10:15～11 :45
11月 13日		
12月 18日		
1月 15日		

【文化遺産学セミナー】考古学からみる文化遺産の諸問題

金　宇大　先生

本授業では主に考古学に関わる視点から、世界遺産に登録されている様々な文化遺産を具体的に取り上げつつ、これらと関連する様々な問題について解説を加えていきます。

10月 16日	金	13:30～15:00
11月 20日		
12月　9日	水	
1月 15日	金	

【日本経済論セミナー】金融化する日本の経済社会

田中　英明　先生

「金融化」と呼ばれる経済や社会の変化とその将来について、金融市場や金融機関だけでなく、企業や政府、そして地域社会や家計・世帯に至るまで、じっくりと探っていきましょう。

10月 21日	水	13:30～15:00
11月 18日		
12月 16日		
1月 13日		

【栽培学セミナー】冬野菜の生理・生態と栽培技術

森　太郎　先生

実際にご家庭で畑やプランターを使って様々な冬野菜の栽培を行ってもらいます。皆さんの栽培体験を持ち寄り、冬野菜の生理・生態と栽培技術について学んでいきましょう。

10月 2日・30日	金	10 :15～11 :45
11月 20日		
12月 11日		

zoom Online 【オンライン（Zoom）セミナー】

【身近な精神的問題への対応セミナー】

疾患ごとの言語特性を知っておくことで、誰もができるサポートへ

吉川　悟　先生

難しい精神医学に頼らずとも、効果的なアドバイスが早期にできるために、知っておいて損のない精神的な問題の特徴と対応手順などについて紹介します。例えば「突然倒れる精神的な病気」などです。

10月 20日	火	13:30～15:00
11月 24日		
12月 15日		
1月 12日		

zoom Online は **Zoom** によるオンライン開講です。以下のいずれかの方法で参加できます。

①自宅で PC やタブレットから Zoom に接続して受講できます。
②ご自宅にインターネット環境がない方：滋賀学習センターで受講していただけます。
※事前に申し込みが必要です。定員は 3 名です。
③滋賀学習センター所属以外の学生、放送大学へのご入学を考えておられる一般の方の受講も可能です。
なお、一般の方は、希望される 1 セミナーを 1 学期間（10月～3月）のみの期間限定での受講となります。
体験受講としていますので、過去に受講された一般の方は受講できません。

詳しくは放送大学滋賀学習センターウェブサイトをご覧ください。

事務室からのお知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、通信指導の提出、単位認定試験、インターネット配信、図書・再視聴室の利用期間、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第 2 学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

＊学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。大学本部での登録後、所属学習センターで発行することになります。

＊**学習センター等を利用する場合に必要ですので、学期開始後から余裕をもって手続きにお越しください。**

＊有効期限を超過したり退学等により学籍を失ったりした場合は、学習センターに返還してください。

＊学籍が継続する場合は、有効期限を超過した学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

※詳しくは、「学生生活の栞」学部：23 頁～26 頁、大学院：35 頁～40 頁を参照ください。

■入構許可証の発行

＊車で来学される方は**「入構許可証」**が必要です。

＊**「入構許可申請書」**は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。**「入構許可証」**を発行します。

＊**入構許可証は発行年度のみ有効です。**

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生・博士全科生のみ利用できます。（選科履修生ならびに科目履修生は対象外です。）

①自宅の最寄り駅から**学習センターに通学**するための回数券（定期券不可）を購入できます。（片道 200 ㎞までの区間）

＊JR 西日本（2 割引）瀬田まで購入可

＊京阪電車（2 割引）京阪山科・京阪大津京・京阪膳所・京阪石山まで購入可

＊上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。

＊**学割証の有効期限は、発行日から 1 ヶ月です。**

②自宅の最寄り駅から**他学習センターの面接授業を受講**するため、**大学本部に通学**するための普通乗車券（特急券不可）を購入できます。（片道 100 ｋｍを超える場合のみ）

＜科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。＞

＊JR（2 割引）　例：瀬田→（米原経由）→海浜幕張

＊**有効期限は、面接授業等の初日の 10 日前から終了日の 5 日後です。**

※詳しくは、「学生生活の栞」学部：130 頁～ 131 頁、修士・博士：129 頁～ 130 頁を参照ください。

面接授業の追加登録について

■空 席 発 表 ： 10 月 16 日（金）15:00

■対　象　者 ： 令和 8 年度第 2 学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生

■追加登録期間・申請方法

①事前申請受付：空席発表～ 10 月 21 日（水）13：10（申請書を郵送する場合は 10 月 21 日（水）午前必着）
滋賀学習センターウェブサイト（Google フォーム）または滋賀学習センター窓口または郵送での申請

②先着申請受付：10 月 22 日（木）15：00 以降科目ごとに定められた受付期日まで
滋賀学習センター窓口・電話・メールにて（支払方法に関わらず）、追加登録を申し出た学生から優先して先着順に受け付けます。

※詳しくは、滋賀学習センターウェブサイト「滋賀学習センターからのお知らせ」を参照ください。

※空席数については、システム WAKABA、または滋賀学習センター掲示板をご覧ください。10 月 22 日（木）15：00 以降は、システム WAKABA で空席状況をリアルタイムで確認することができます。

通信指導の提出について

通信指導とは、放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に一回、前半の一定の範囲から出題された課題について、その解答を提出することです。**(原則 Web 提出)**
通信指導に合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。

1. 実施方法概要

■ Web 通信指導による提出のみで実施します。(郵送提出科目※は除く)

・インターネットを通じて、提出期間中、いつでも自宅等から提出することができます。
・時間制限はありません。1 回目の解答提出が採点の対象となります。
・通信指導の「問題」を事前に確認する方法（10 月上旬アップロード）
　システム WAKABA→授業サポート→授業共有ファイル
・通信指導の提出（お試し版もこちらから）
　システム WAKABA→学内リンク→Web 通信指導

■ 郵送提出科目 (10 月下旬に大学本部から問題冊子等送付)

・自宅等で解答を作成し、郵便で提出する方法で実施します。
※「市民自治の知識と実践 ('21)、「文学批評への招待 ('18)」、「日本美術史の近代とその外部 ('18)」、「空間と政治 ('22)」) のみ

2. 提出期間：提出期限を超過した場合は受理されません。

Web 提出	11 月 5 日 (木)10:00 ～ 11 月 25 日 (水)17:00
郵 送 提 出	11 月 11 日 (水) ～ 11 月 25 日 (水) ≪大学本部 必着≫

※郵送提出は、郵送提出科目及び Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

3. Web 提出が困難な方へ

・単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り本部より通信指導冊子を送付します。
※詳しくは、「学生生活の栞」学部：68 頁～ 73 頁、大学院：73 頁～ 78 頁を参照ください。

単位認定試験について

2026 年度第 2 学期単位認定試験 (2027 年 1 月実施) は、Web 受験方式 (一部科目※については郵送受験方式) にて実施します。

1. 実施方法概要

■ Web 受験方式

• 自宅等から、インターネットを通じて Web単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
• 1 科目 50 分の制限時間があります。(一時停止不可、 1 回のみ受験可能)
• 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の) 併用式」のいずれかの形式で出題されます。

■ 郵送受験方式

• 1 月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
※「行政学講説 ('24)」、「正多面体と素数 ('21)」、「日本美術史の近代とその外部 ('18)」、「量子化学 ('19)」 の 4 科目のみ

2. 試験日程：単位認定試験期間：「実施方法」・「出題形式」により試験期間が異なります。

Web 受験科目	記述・併用式科目	1 月 17 日 (日) 9：00 ～ 1 月 21 日 (木) 17：00
	択 一 式 科 目	1 月 17 日 (日) 9：00 ～ 1 月 25 日 (月) 17：00
郵送受験科目	すべての出題形式	1 月 17 日 (日) ～ 1 月 21 日 (木) ≪大学本部 必着≫

3. Web 単位認定試験体験版について（試験期間前）

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間までに、必ず体験版を操作しておいてください。

◆単位認定試験体験版アクセス方法

・システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

学友・同窓会主催の文化祭および公開講演会について

日　時：2026 年 10 月 31 日 (土) 午後 ～ 11 月 1 日 (日) 終日
学友・同窓会主催の文化祭会場：龍谷大学瀬田キャンパス 4 号館
＜10/31 (土) 13:00 ～ 16:00＞　各種イベントを開催予定
＜11/1 (日) 午前＞　作品展示、図書リサイクル市、映画観賞会、昼食懇談会、作品解説など
＜11/1 (日) 午後＞　滋賀学習センター主催公開講演会　　演題：**「和歌に詠まれた四季」**
講師：冷泉家当代夫人・冷泉家時雨亭文庫常務理事　　冷泉 貴実子 氏
終了後、茶話会など

スケジュール

10 月

日	曜	内　容
1	木	第2学期放送授業開始(～1/13) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～10/20)
2	金	【セ】森 10:15
3	土	2027年度大学院博士全科生・修士全科生入学者 第一次選考 (筆記試験)
4	日	
5	月	閉所日 第2学期オンライン授業開始(～3/1まで閲覧可能) 集中科目履修生(司書教諭)単位認定試験課題提出期限
6	火	【セ】伊藤10:15
7	水	
8	木	
9	金	【セ】糟野 10:15
10	土	
11	日	
12	月	閉所日(スポーツの日)
13	火	
14	水	
15	木	【セ】太田 13:30
16	金	【セ】金 13:30 面接授業空席発表 第2学期面接授業追加登録開始 (科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで)
17	土	面接授業
18	日	面接授業
19	月	閉所日
20	火	滋賀大学附属図書館利用申請締切 【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online
21	水	【セ】田中 13:30
22	木	
23	金	
24	土	面接授業
25	日	面接授業
26	月	閉所日
27	火	
28	水	
29	木	【セ】太田 13:30
30	金	【セ】森 10:15 2027年度大学院博士全科生・修士全科生入学者 第1次選考合否通知
31	土	学友会(かいつぶり)文化祭(第1日目)

11 月

日	曜	内　容
1	日	第2回公開講演会(冷泉 貴実子氏)13:30～ 学友会(かいつぶり)文化祭(第2日目) 2026年度卒業研究報告書提出期限
2	月	閉所日
3	火	閉所日(文化の日)
4	水	
5	木	第2学期通信指導提出期間(～11/25)
6	金	
7	土	面接授業
8	日	面接授業
9	月	閉所日
10	火	
11	水	
12	木	【セ】太田 13:30
13	金	【セ】糟野 10:15
14	土	面接授業 2027年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試問)
15	日	面接授業 2027年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試問)
16	月	閉所日
17	火	【セ】伊藤 10:15
18	水	【セ】田中 13:30
19	木	
20	金	【セ】森 10:15 【セ】金 13:30
21	土	面接授業
22	日	面接授業
23	月	閉所日(勤労感謝の日)
24	火	【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online
25	水	第2学期通信指導提出期限
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	第3回公開講演会(薄井 彰氏)13:30～
30	月	閉所日

12 月

日	曜	内　容
1	火	【セ】伊藤 10:15
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	面接授業
6	日	面接授業
7	月	閉所日
8	火	
9	水	【セ】金 13:30
10	木	【セ】太田 13:30
11	金	【セ】森 10:15
12	土	面接授業
13	日	面接授業
14	月	閉所日
15	火	【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online
16	水	【セ】田中 13:30
17	木	
18	金	【セ】糟野 10:15 2027年度大学院博士全科生、修士全科生入学者第二次選考合否通知
19	土	面接授業
20	日	面接授業
21	月	閉所日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	閉所日(冬季)
29	火	閉所日(冬季)
30	水	閉所日(冬季)
31	木	閉所日(冬季)

◇表紙写真説明　2026年度第1学期卒業証書・学位記授与式

放送大学
滋賀学習センター

【セ】=セミナー